

草津宿街道交流館について

草津の歴史、特に江戸時代の旅と街道をテーマとする 歴史資料館。
かつての宿場町の中ほどに建っています。

どんな歴史がある、どんな土地なのかを調べる・残す・広める
= 知ってもらう ことが大切な役割のひとつです。

「草津宿」 とは…

「草津宿」

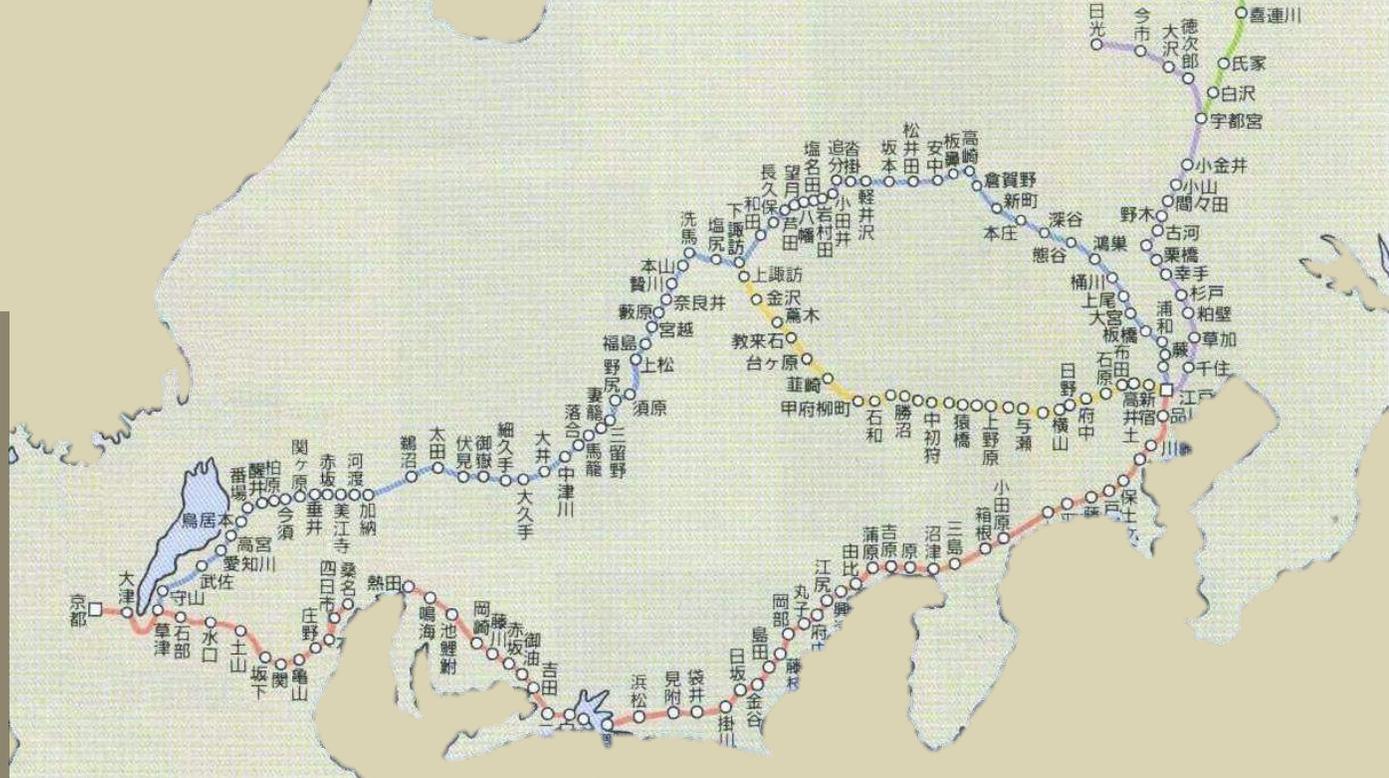
- 江戸時代の宿場町のひとつ。
- 東海道と中山道が分岐・合流する地点でした。

…どういう意味？

ざっくり言うと、

たくさんの人やものが
全国から集まってくる、
にぎやかなまちだった

ということ。



ただ「大きな道が通っていた」…というだけではありません！



歌川広重「東海道五十三次之内 石部」 (草津市蔵)

宿場の役割 その1

「旅の拠点」

= 旅人が泊まったり、休んだりするところ。



草津宿には、70軒以上の旅籠や茶屋、煮売屋、髪結床などが立ち並んでいました。

宿場の役割 その2

「物流の拠点」

= 荷物の輸送や郵便の中継地点

長距離トラックも飛行機もない時代、
効率よく、早く、荷物を運ぶには？

…宿場ごとに人・馬が待機。
リレー形式で次の宿場まで運びました。

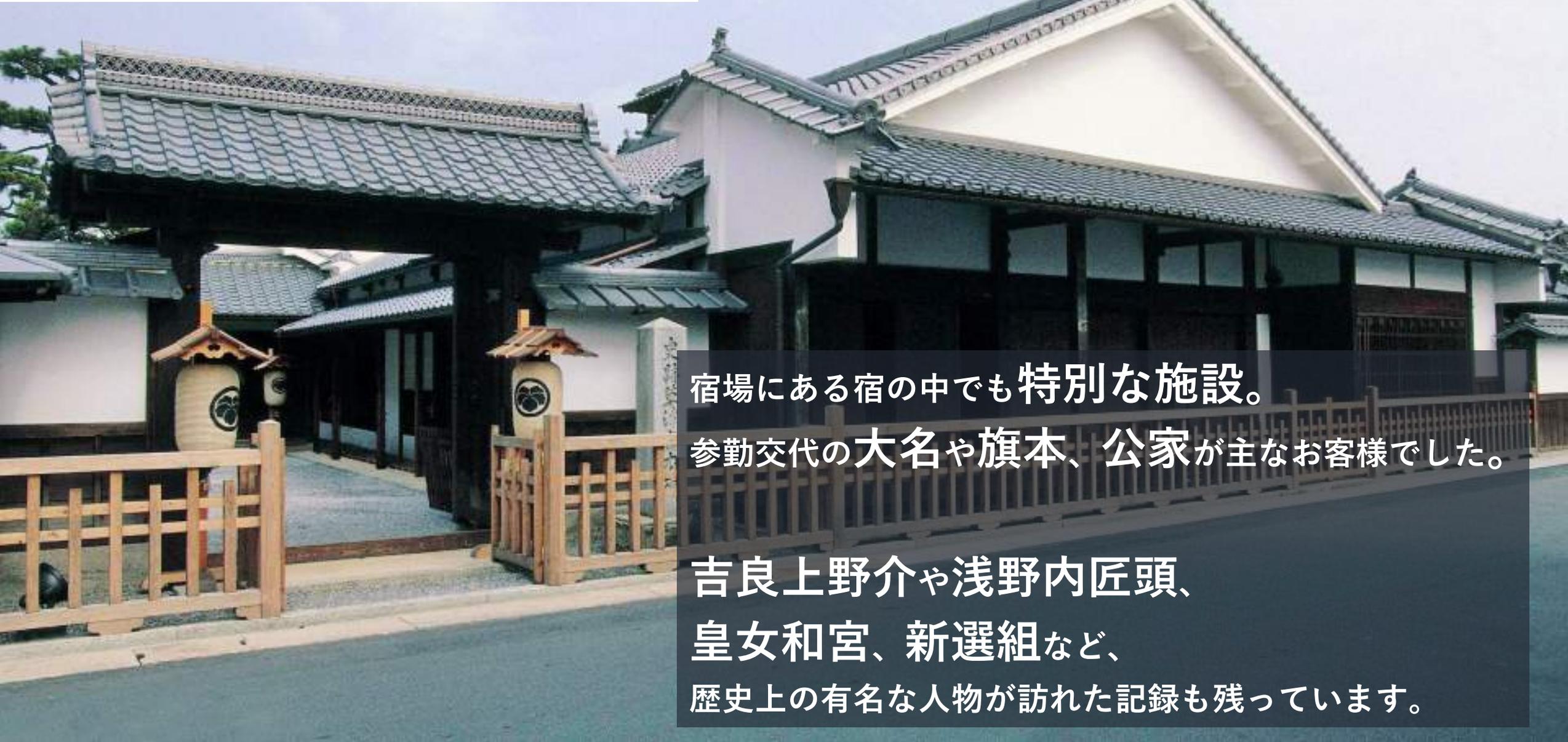


歌川広重

「東海道五拾三次 石薬師」 〈狂歌入東海道〉

(草津市蔵)

草津宿本陣とは…



宿場にある宿の中でも**特別な施設**。
参勤交代の**大名**や**旗本**、**公家**が主なお客様でした。

吉良上野介や**浅野内匠頭**、**皇女和宮**、**新選組**など、
歴史上の有名な人物が訪れた記録も残っています。



現在の建物は江戸時代後期＝約170年くらい前のもので、
現存する本陣の中では**全国でも最大規模**です。

「**国史跡**」に指定されています。

資料がたくさん残っているのも
重要なポイントです。



VRまちなみ体験について

せっかく身近にある
「**地元の歴史**」を
たくさんの方に知ってもらいたい！

「**面白い!**」 「**すごい!**」
を共有したい!

しかし…

「草津で自慢できるものって…ある？」
「**本陣には行ったことがない**」
…という声もかなり多いのが現状。

“VR”という最新技術との掛け算



体感・体験という形で
草津の歴史の魅力と出会ってもらえるチャンス！



さらに、
その先には…



かたい言葉になりますが…

「文化財の保存・継承」

という大きな目的にもつながります！

草津宿本陣をはじめとした文化財の多くは、決して“偶然残っているもの”ではありません。

長い年月を越えて、多くの人の努力によって“残されてきたもの”なのです。

「これからも守り続けたい！」

知ってもらうことによって、ひとりでも多くの方にそう思っただけならば…

と考えています。